（要領様式第5号）

研修カリキュラム

年度	令和6年度　神奈川県保育エキスパート等研修
分野	障害児保育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	障害の理解 （障害とその支援に関する理解）	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 久保山　茂樹	障害とはなにか。共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育、特別支援教育について、丁寧に解説している。自園の子どもたちを、共生社会の担い手として育むために、保育者は何をなすべきか、ワークを通して具体的に考える。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	2時間09分	15時間28分	令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
2	気になる子どもの視点から保育を見直す	国立特別支援教育総合研究所総括研究員 久保山　茂樹	気になる子どもへの特別な支援は、一見専門的で難しいのではないかと感じさせる。しかし、一人ひとりの子どもに合ったかかわり方を考えていくことは、保育そのもの。具体的な事例を通して、様々なニーズのある子どもへの理解を深めると共に、全ての子どもに対する保育の在り方を見直し、考えるきっかけとなる講座。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	3時間14分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
3	障害児の発達の援助	八戸学院大学短期大学部 教授 差波　直樹	特別な支援を必要とするお子さんの保育や、保護者との接し方等について、保育者であった講師の体験を事例にあげ、丁寧に解説している。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	2時間52分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
4	障害児保育の指導計画、記録及び評価	仙台白百合女子大学 教授 三浦　主博	障害や発達上の課題のある子どもが、他の子ども達と共に育っていくための指導計画の立案から実践、評価までの流れや留意するポイント等を学ぶ。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	2時間33分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
5	家庭及び関係機関との連携1 （気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働）	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 久保山　茂樹	保育者は、施設での子どもの状態を話したい。保護者は自分のおもいを話したい。故に、両者の間で、ずれが生じることも多い。保護者の手記や事例を通して、「気になる子どもの保護者のおもいや歴史」を踏まえた保護者支援や,協働について考える。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	2時間38分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
6	家庭及び関係機関との連携2 （関係機関との連携）	玉川大学 教授 若月　芳浩	障害のある子どもが他の子どもたちと共に育っていくためには、保育者のインクルーシブなマインドと保護者・専門機関との連携が重要であることを学び、ワークを通し、自園の課題を明確にし、その解決の手立てを探っていく。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	1時間04分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人
7	医療的ケアが必要な子どもの保育	文教大学 教育学部 発達教育課程 二宮　祐子	・医療的ケアの定義と法的な基盤や地域における支援体制、施設での体制つくりや保育士等が行うことができる医療的ケアの内容と範囲について学び、医療的ケア児への理解を深める。	講義＋演習（eラーニング）+ミニテスト+報告書	0時間55分		令和6年 4月8日（月） ～ 令和7年 2月28（金）	パソコン スマートフォン タブレット	1500人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～7すべての研修を受講する必要があります。